

小児・AYA世代（15歳～40歳前後）で がんを経験した方の交流会を行いました

交流会での声

◆うれしかったこと

- ・治療の成果が見えたとき。
- ・友人からメッセージをもらったことやお薦めの音楽を教えてくれたりしたこと。
- ・担当の医師や看護師が、病態が良くなる方法や自宅での生活のアドバイスを教えてくれたこと。

◆つらかったことや不安だったこと

- ・病院食が美味しくなかったこと。
- ・内服薬が多く、それを飲むことが苦しかったこと。
- ・治療による激痛や吐き気などで夜眠れなかったこと
- ・治療に加え、将来のことも考えて、精神的に抱えきれなくなったこと。
- ・治療により髪が抜け、その状態での復学を考えること。
- ・抗がん剤治療の影響が長期に続く可能性があること。

◆自分の病気について知った方法

- ・治療当時は、調べると悪い情報が出てくるので、全く調べないようにしていた。
- ・医師からの資料を見る程度で、治った後に親から情報を得た。
- ・医師から病気のことを適宜説明されたのみであったが、最近になってがんのことを調べたり、同じ境遇の方との交流を通して情報を得ている。
- ・インターネットで調べたが、珍しいがんのため、情報源があまりなく、詳しく調べたことはなかった。

◆その他

- ・人の役に立つ仕事がしたい。
- ・治療による様々な影響について教えて欲しかった。
- ・勉強と治療が両立できる環境を整備して欲しい。
- ・心配なことは親身になってくれる人に相談することが大事。

◆交流会の必要性

- ・入院中は病院に医師や看護師、ほかの子ども、親もいるが、その分学校との関わりが薄いので、退院後は寂しさを感じる。このような交流の場は必要だと思う。
- ・交流会のことを今まで知らずにきて、人に勧められて知った。もっと広報して欲しい。

栃木県では、今後も交流会の開催を予定しています。

同世代の経験者と話してみたい、悩みや気持ちを共有できたら・・・

という方は、ぜひ御参加ください。



【お問い合わせ先】

栃木県保健福祉部健康増進課

TEL：028-623-3096